

### 3. 拠出限度額の引上げ

#### (1) 個人型の拠出限度額の引上げ

##### ①『半数が限度額付近まで拠出』

拠出限度額1.8万円のうち、1.5万円以上の掛金が拠出されているのは47.6%となっており、半数近くの者が拠出限度額に近い水準となっている。

##### ②『企業型に比べ個人型への支援が低い』

企業型の拠出限度額は4.6万円又は2.3万円である一方、個人型は1.8万円となっており、個人の自助努力に対する支援が低い。

個人の自助努力により掛金を拠出し、将来の年金給付の充実を図ることができるようにすべき。

#### (2) 企業型の拠出限度額の引上げ

##### 『若年世代の企業拠出が低くなる』

年功序列賃金体系の下、壮年世代に係る掛金を拠出限度額の枠内におさえようとするため、結果として、若年世代の掛金が低くなる。

若年から壮年を通じた各世代において掛金が引き上げられるよう、拠出限度額を引き上げるべき。

